

自閉症・情緒障がい固定学級の設置 に向けた検討の状況について

目次

1. 背景.....	3
2. 狛江市の現状.....	4
3. 新設する固定学級の規模(見込み).....	5
4. 今後の流れ.....	6
5. 課題.....	7

1. 背景

- ・自閉症・情緒障がい等で特別な支援を必要とする児童・生徒は増加している。
(特別支援教室(通級指導学級)を利用する児童は、5年前に比べて約2倍に増加)

■特別支援教室(通級指導学級)利用児童数

※毎年度5月1日現在

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
人数	65	59	74	97	117	127	152	172

H24 特別支援教室
モデル事業 開始

H28 本実施
へ移行

- ・自閉症・情緒障がいの固定学級の利用が望ましいと思われる児童も増加しており、今後も、当面はこの傾向が続くものと推測されている。
- ・福祉関係団体や校長会から設置の要望が上がっている。

→固定学級設置の検討を開始

2. 狛江市の現状

■ 狛江市の特別支援学級の設置状況

種別	固定学級		特別支援教室(通級指導学級)
	知的障がい	自閉症・情緒障がい	情緒障がい等
通学	毎日(特別支援学級に在籍)	毎日(特別支援学級に在籍)	週1～8時間程度
対象	知的発達遅滞があり、他人との意思疎通に軽度の困難があり日常生活を営むのに一部援助が必要で、社会生活への適応が困難である程度のもの	自閉症又はそれに類するもので、他人との意思疎通及び対人関係の形成が困難である程度のもの	主として心理的な要因による選択制かん黙等があるもので、通常の学級における授業におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする程度のもの
設置校	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江一小(いずみ学級) ・緑野小(えのき学級) ・狛江一中(1組) 	<p>・小学校 なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狛江一中(2組) ※19年度から休級 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 全校 (拠点校3校, 巡回校3校) ・中学校 全校(※モデル事業) (拠点校1校, 巡回校3校)

3. 新設する固定学級の規模(見込み)

- 設置数 小学校1校
- 種別 自閉症・情緒障がい固定学級(学級編制基準:8人)
- 開設日 平成30年4月1日(予定)
- 設置校 現在, 調整中
- 対象児童数 20名程度(これまでの就学相談の状況と、各小学校の現状から推定)
- 当初見込み児童数 4名程度(1学級)

4. 今後の流れ

平成29年

- ・9月 施設整備等に要する予算の確保(補正予算)
- ・10月～12月頃 保護者説明会の実施、就学・転学相談の実施
- ・1月～2月頃 在籍児童の決定
- ・2月～3月頃 施設改修・備品等の整備、例規整備

平成30年

- ・4月 自閉症・情緒障がい固定学級開設

5. 課題

- ・開設当初における在籍児童数の確保
- ・通学にかかる児童・保護者の負担
- ・中学校進学後の対応（自閉症・情緒障がい固定学級の設置）
- ・継続的な学級の維持